

農山漁村地域整備計画評価調書

◆計画の概要

計画の名称	安全・安心な生活環境の確保と豊かな森林づくり計画
計画策定主体	青森県
対象市町村	青森市、外ヶ浜町、平川市、西目屋村、五所川原市、鰺ヶ沢町、三戸町、田子町、十和田市、野辺地町、むつ市、風間浦村、六戸町、新郷村 (14市町村)
計画期間	令和7年度～令和11年度(5年間)
計画の目標	県内の山地災害危険地区における治山工事の着手率は未だ低く、本計画において緊急性の高い地区から優先度を配慮して着手するとともに、漁場保全にも資する浸透・保水能力の高い土壌を有する森林への整備を促進し、山地災害防止機能等を向上させることにより、「安全・安心な生活環境の確保と豊かな森林づくり」を推進する。
評価指標	指標の内容
	山地災害防止機能が確保された集落数の増加させる(436集落→438集落)。
対象事業及び関連事業	○対象事業 治山事業、漁場保全の森づくり事業
全体事業費	対象事業 1,339,000千円

◆評価

項 目	評価細目		評価	説 明
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	県が進める「農林水産力強化パッケージ」のプロジェクトである「林業の生産性向上対策」と合致しており、整合が図られている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	緊急性の高い地区からの工事着手と、健全な森林の維持造成に向けた目標となっている。
	3	対象事業の事業内容が目標と指標に密接に関連しているか。	○	各事業が指標に関与しており密接に関連している。
整備計画の効果・効率性	1	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時、あるいは年度の事業実績により確認できる指標となっている。
	2	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、それぞれの事業目的にあった内容で、事業実施により発現する効果となっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	関係市町村、地域住民等との合意形成が図られており、技術的にも可能な内容となっている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	地元市町村からの要望に基づく事業であり、関係者からの同意を得ている。
	3	対象事業のうち新規着工地区について、事前に実施要件の確認がなされているか。	○	事前に国の審査を受けている。

◆評価結果

評価1	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2	計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。